

平成26年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	寺澤
		全体計画				経費区分		-		内線	3231
事務事業名	4145 部落差別をはじめあらゆる差別をなくす活動助成事業										
所 属	130300 市民共創部・人権同和政策課										
施 策	07013800 人権が尊重される社会の実現										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	030401 民生費・人権同和政策費・人権同和政策総務費									
	事業	030000 部落差別をはじめあらゆる差別をなくす活動助成事業									
事業目的						事業概要・効果					
部落差別をはじめあらゆる差別の早期解消をめざして活動する団体が行う事業を支援することにより、指導者を養成するとともに、指導者が差別をなくす取組みを広く市民に周知し、あらゆる差別の解消をめざす。						部落解放同盟須坂市協議会及び部落解放同盟須高地区協議会へ、部落差別をはじめあらゆる差別をなくすための事業に要した経費に対して補助金を交付する。人権侵害救済法の早期制定に向けた部落解放・人権政策確立要求須坂市実行委員会へ負担金を交付する。運動団体の活動予算の過半数を占めている。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
部落差別をはじめあらゆる差別をなくす事業補助金、研修指導者養成事業（須坂市協議会1,145、同須高地区協議会661）研修事業（同須坂市協議会231）部落解放・人権政策確立要求須坂市実行委員会負担金100	部落差別をはじめあらゆる差別をなくす事業補助金、研修指導者養成事業（須坂市協議会1,130、同須高地区協議会550）研修事業（同須坂市協議会267）部落解放・人権政策確立要求須坂市実行委員会負担金100
平成24年度 実績	平成25年度 実績
部落差別をはじめあらゆる差別をなくす事業補助金、研修指導者養成事業（須坂市協議会1,212、同須高地区協議会511）研修事業（同須坂市協議会242）部落解放・人権政策確立要求須坂市実行委員会負担金100	部落差別をはじめあらゆる差別をなくす事業補助金、研修指導者養成事業（須坂市協議会1,152、同須高地区協議会535）研修事業（同須坂市協議会248）部落解放・人権政策確立要求須坂市実行委員会負担金100
平成26年度 予定	平成27年度 予定
部落差別をはじめあらゆる差別をなくす事業補助金 研修指導者養成事業（須坂市協議会1,439 同須高地区協議会679）研修事業（同須坂市協議会321）部落解放・人権政策確立要求須坂市実行委員会負担金100	

指標名	人権が侵害されたと思ったことがある人の割合を減少						
算式						単位	%
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標	9	8	7	6	5	
	実績	20					
指標選定の理由	お互いを思いやり人権を尊重する明るい須坂市を目指すことから地域住民社会の現状を把握するために市民意識調査及び人権に関する市民意識調査を実施して今後の人権政策の施策事業に反映させるため。						
最終年度目標の根拠	平成21年度の調査結果では10.2%であり、各施策事業の実施により平成27年度（最終年度）の目標を半分程度とした。						
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		2,035	2,539
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,035	2,539
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.1	0.0
人員 コスト	正規職員	685.8	1,371.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	117.7	0.0
	計	803.5	1,371.6
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		2,838.5	3,910.6

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,035	補助金 須坂市1,400、須高地区535 須坂市実行委員会負担金100
その他	0	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,539	補助金 須坂市1,760、須高地区679 須坂市実行委員会負担金100
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	やや低い
評価コメント	同和関係の運動団体の貴重な収入源であり簡単には削減はできないと思います。しかし、補助金要綱の目的である指導者養成とは結びついていないように思える。補助金の内容は、大会等に参加するための交通費、宿泊代、参加費、運動団体職員の人件費などである。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	あまり有効ではない
評価コメント	差別が存在している限り、指導者的立場の人材を育成し、基本的人権を尊重するために市民に周知させていく必要がある。人権感覚に優れた人材を育成していく必要があり、補助金の該当支出項目について検討が必要。実行委員会の決算額は、繰越額が多いので負担金の額を検討する必要がある。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	補助金及び負担金については、毎年恒例の大会や大会等の参加により大幅には変わらない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
補助金の削減

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）
総合評価コメント	
会費の見直しや活動内容の精査が可能かなど、部落解放同盟須坂市協議会などと話し合いを行う。	

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）
2次評価コメント	
1次評価と同じ。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	